

管内月間火山概況（平成 25 年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（平常）	秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	平常	恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、 鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（平常）〕

東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過しています。また、2013年2月以降、山頂付近が震源と考えられる火山性地震が発生し、4月下旬以降はやや増加傾向となっています。

山体周辺の地殻変動観測では、2013年2月頃以降、小さな膨張性の地殻変動がみられています。

噴気などの表面現象に変化はみられませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

平成25年7月25日の噴火警戒レベル運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。秋田焼山の活動状況及び予報警報事項に変更はありません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

火山性地震は少ない状況で経過しました。

地殻変動の状況等にも特段の変化は認められず、噴火の兆候は認められません。

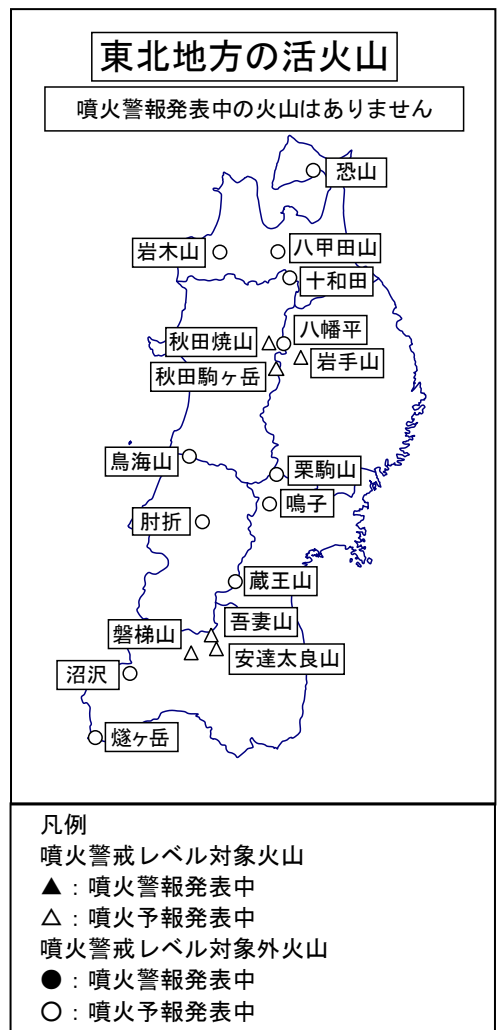
秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

女岳では南東火口縁外側及び南東火口内南西側で、高温域のわずかな拡大が確認され、山頂北部、北東斜面及び北斜面等でも噴気地熱域が引き続き確認されています。

火山性地震は少ない状況で経過し地殻変動の状況等にも特段の変化は認められず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意して下さい。

鳥海山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



栗駒山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山 [噴火予報（平常）]

火山性微動が 3 回発生しました。火山性地震は少ない状況で経過しており、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いていますが、火山性地震は少ない状況で経過しました。ただちに噴火する兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出が引き続きみられますので警戒してください。また、風下側では、火山ガスに注意して下さい。

安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（平成 25 年 8 月分）は平成 25 年 9 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。